

第60回 平和を考えるフォーラム

平和はたゆまぬ努力によってのみ築かれ、保たれる

第1部 講演会 13:00~13:50

「戦後80年の今、聞いておきたい戦争体験者の声」

高橋文雄氏 「秦野でも空襲はあった」

91歳の秦野市議会議員が語る思い

山田知江氏 「若い世代に戦争を伝え続けたい」

神奈川県中地区退職女性教職員の会 ゆりの会

第2部 映 画 14:05~16:00

望郷の鐘

満蒙開拓団の落日

山本慈昭、「満州」で過酷な体験をしながら残留孤児たちの肉親探しに生涯をささげた感動の物語

監督：山田火砂子

主演：内藤 剛志

出演：渡辺 梓

常盤 貴子ほか



入場無料 (先着順・定員308名)

2026年 秦野市保健福祉センター 3階 多目的ホール

令和8年 2月 21日(土) 13:00~16:00
開場 12:30

主催：はだの・平和都市宣言につどう会/秦野市

問合せ先：はだの・平和都市宣言につどう会(高橋) 0463-75-1832

秦野市文化振興課 0463-86-6309(平日のみ)

平和を守り続けるために必要なことは何なのか？

第1部 講演会

高橋文雄氏：昭和9年（1934年）生まれ。91才。昭和56年より秦野市市議会議員。子どもの頃の戦争体験を語る。今、若い世代に伝えたい「秦野でも空襲があった」

山田知江氏：昭和4年（1930年）生まれ。96才 神奈川県中地区退職女性教職員の会 ゆりの会 教え子を再び戦場に送らないために、「私の戦争の記憶」を語る。

第2部 映画 「望郷の鐘 満蒙開拓団の落日」

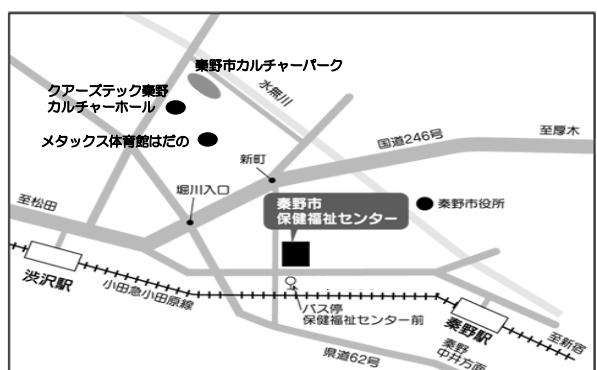


1932年～「満州」は、ユートピアと宣伝され、日本から大勢の民間人が中国大陸に向かいました。報道規制によるプロパガンダ（意図的な情報操作）の影響で多くの市民が戦争への協力をを行うようになりました。

1945年3月10日東京大空襲以後、日本の都市が壊滅状態となつた中でも長野県から「満蒙開拓団」に行った山本慈昭一家。8月に広島・長崎へ原子爆弾が落とされ、日本は敗戦を迎えた。

戦後、日本に帰った山本氏は、戻つてこない家族を探す中、中国残留孤児の問題に直面し、孤児たちの帰還に貢献しました。その事実を映画化したものです。

会場：秦野市保健福祉センター



アクセス

- 湘南神奈交バス
●秦野駅前発 5番「土橋経由由浜沢駅北口行」乗車 「保健福祉センター前」下車
●浜沢駅前発 1番「土橋経由由秦野駅行」乗車 「保健福祉センター前」下車

はだの・平和都市宣言につどう会

平成4年平和団体や個人により発足。昭和61年に制定した「秦野市平和都市宣言」の理念の実現にむけて、「平和を考えるフォーラム」など市と市民協働の平和事業を33年間行っています。